

東京大学スポーツ科学連携研究機構 (UTSSI) 主催 : 2024 年 5 月 26 日

- ・ パラスポーツセミナー2024 spring 「パラスポーツがあたりまえの社会に」
- ・ Sporting School 2024 Spring: Let's Dance! :ダンスで体を動かそう!

本事業は、公益財団法人スポーツ安全協会の令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業(大学におけるスポーツ活動・文化活動)として採択された「障害児のスポーツや身体活動性向上を目標とした地域に根差した 多分野人材育成とスクール開催事業」として実施されました。

・パラスポーツセミナー2024 spring 「パラスポーツがあたりまえの社会に」

講演1「スポーツ活動の環境を整えていくために必要な障害の理解と合理的配慮とは」では、東京大学先端科学技術センター教授 熊谷晋一郎氏より、当事者としてのスポーツについての実体験や周囲の障害者がスポーツをすることに対する見方について講演が行われました。つづいて、東京大学医学部附属病院リハビリテーション科/UTSSI 准教授 藤原清香氏より、診療を通して障害のある子供達へのスポーツの意義と社会の中でのあり方について講演が行われました。

講演2「パラスポーツで使用される様々な補装具に関する基礎知識」では、日本パラスポーツ学会・日本義肢装具学会理事・大阪大学工学研究科 BE 専攻 准教授・川村義肢(株)開発部 主席技師・松田靖史氏より講演が行われました。補装具を使うことの可能性とそれによって描く未来のパラスポーツについてその歴史からわかりやすくお話いただきました。

つづいて、ワークショップ「スポーツ実施現場で生じる事例を踏まえて」が行われ、パラスポーツの指導や実施する場の提供を実際に行っている指導者に登壇いただきました。東京ドームスポーツセンター東久留米 障害者ヒップホップ教室講師の Ryo-ta 氏、陸上クラブ AC・KITA 代表 田園調布雙葉小学校教諭の土田政志氏、日本アダプテッドブレイキン協会 ヨジゲンズ代表の SHUNJI 氏に、実際の現場での対応や目指すものについての話を聞く機会となりました。

東京大学 UTSSI
障害児のスポーツや身体活動性向上を目標とした
地域に根差した多分野人材育成とスクール開催事業

情報 パラスポーツに関する情報提供	場所 安全にスポーツができる場所 アクセスのよい環境と場所
道具 障害特性に応じた用具の確保	人材 必要な介助者の確保 障害を理解している スポーツ指導者の確保

障害の有無にかかわらず誰もがスポーツ参加できる場の実現にむけて

2013年6月 「障害者差別解消法」が制定
2024年4月 民間企業の「合理的配慮」が法的義務化

第3期スポーツ基本計画(文部科学省2022)
体育授業の酸化する希望する障害自動
生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発を明記

社会環境は変化しつつも、様々な障害に対して
どのように実際に対応すべきか具体的な方法が確立していない

スクール・セミナー開催、情報共有と発信

<input checked="" type="checkbox"/> 課題の抽出	<input checked="" type="checkbox"/> 解決法の提示	<input checked="" type="checkbox"/> マッチング
---	--	---





・Sporting School 2024 Spring: Let's Dance! :ダンスで体を動かそう!

2024年パリオリンピックの正式競技としてブレイクダンスが加わります。今回のKSS2024では、このブレイクダンスをはじめとして、身体的な特徴を生かした個性的なダンスの魅力と楽しさを参加者が感じることができるとの企画としました。障害児の身体活動性向上から健全な心身の成長と将来的なQOL向上を実現できるよう、地域におけるスポーツや文化活動の場を提供する事を目的に開催しました。

当日は、脳性麻痺をはじめ、四肢欠損、二分脊椎など様々な障害のある子どもたちやその兄弟、15人が参加しました。指導は、障害のある子どもたちを対象にダンス教室を開催している実績のある日本アダプトブレイキン協会 (Japan Adapted Breakin Association) の協力を得、4名のダンス講師と2名のアシスタントの方々によって行われました。ウォーミングアップ後、デモンストレーション、グループレッスン、ダンス披露を行いました。皆でそれぞれのダンスの良さとかっこよさを互いに見て応援しました。

本イベントでは障害のある子どもたちのスポーツ活動を支援するスタッフの育成も目的としていました。参加児童に担当のサポートスタッフをつけて、必要なサポートを行いつつ、また実際にどのような支援が必要なのかを経験できる場を目指しました。サポートスタッフとして、理学療法士9名、作業療法士2名、義肢装具士5名、保健師・看護師1名、医師4名が医療専門職として参加して運営にあたりました。この他、スポーツ指導員4名、エンジニア2名、ダンス講師4名、大学職員3名の他、本学の学生2名と理学療法士の学生1名も参加し、多くの方に有意義なものとなりました。



イベントはUTSSI
KSS 2024
SPRING パラス
スポーツセミナー&
ダンス教室実行
委員会にて運営
されました。